

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年12月25日

【評価実施概要】

| | | | |
|-------|---|-------|------------|
| 事業所番号 | 4271401087 | | |
| 法人名 | 社会福祉法人 恵光会 | | |
| 事業所名 | グループホーム 南串山荘 | | |
| 所在地 | 〒854-0703 長崎県雲仙市南串山町丙10719 (電話) 0957-88-2922 | | |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構 | | |
| 所在地 | 〒855-0801 長崎県島原市高島2丁目7217 島原商工会議所1階 | | |
| 訪問調査日 | 平成19年12月19日 | 評価確定日 | 平成20年2月20日 |

【情報提供票より】(平成19年4月1日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|---------------------------------|--------|--------------------------|
| 開設年月日 | 昭和・ 平成 12 年 12 月 1 日 | | |
| ユニット数 | 1 ユニット | 利用定員数計 | 8 人 |
| 職員数 | 8 人 | 常勤 | 7 人, 非常勤 1 人, 常勤換算 4.7 人 |

(2) 建物概要

| | | | |
|------|---------------|-------|-------|
| 建物構造 | 鉄骨一部鉄筋平屋建て 造り | | |
| | 1 階建ての | 1 階 ~ | 1 階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | |
|---------------------|----------|----------------|-------|
| 家賃(平均月額) | 12,000 円 | その他の経費(月額) | 実費 |
| 敷金 | 有(円) | (無) | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 有(円) | 有りの場合 償却の有無 | 有 / 無 |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ 円 |
| | または1日当たり | | 750 円 |

(4) 利用者の概要(4月1日現在)

| | | | | | |
|-------|-----------|------|------|----|------|
| 利用者人数 | 8 名 | 男性 | 0 名 | 女性 | 8 名 |
| 要介護1 | 1 名 | 要介護2 | 2 名 | | |
| 要介護3 | 3 名 | 要介護4 | 2 名 | | |
| 要介護5 | 0 名 | 要支援2 | 0 名 | | |
| 年齢 | 平均 86.6 歳 | 最低 | 81 歳 | 最高 | 97 歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|------------------------|
| 協力医療機関名 | 京泊馬場医院 ・ 馬場歯科医院 ・ 哲翁病院 |
|---------|------------------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

島原半島の南端に位置し、自然に恵まれた場所に立地している当ホームは、橋湾が見下ろせる。母体法人でもある寺院が隣設しており「至誠、天に通ず」を理念に掲げられている。ホームのリビングの畳の部屋には仏壇があり、毎月1日・15日は寺院へ参拝があり、安らぎと安心感が保てるよう環境作りに取り組みされており、地域のニーズにも答えられるよう努めている。同じ敷地内にはデイサービス・居宅介護支援事業所・訪問介護・老人ホーム関連事業所が立ち並び、施設間の連携が充実しており、デイサービスとはバリアフリーで建物が繋がっており、普段から自由に行き来ができ、地域の方や顔なじみの友達と交流する機会があり、開放的で明るいホームである。

| | |
|------|--|
| 重点項目 | 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) |
| | 前回の評価に対し改善計画シートを作成し、優先順位を付け、積極的に取り組まれる姿勢が窺われた。一連の流れが分かる様にヒヤリハットを作成し、実施している。又、食事介助者が増えている為、なるべく入居者の方と食事を摂るように努めている。 |
| 重点項目 | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) |
| | 評価の意義を理解し、全体会議の時、全職員で項目に沿って話し合い、管理者が集約して作成している。 |
| 重点項目 | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) |
| | 運営推進会議は、家族の代表・利用者・市町村職員・介護支援専門員・管理者のメンバーで2ヶ月に一回開催している。家族や市町村職員からの意見が聞ける場となっている。 |
| 重点項目 | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) |
| | 一年に一回、家族会を開催している。今年度は、併設施設全体の家族の集まりもあった。玄関には苦情受付用紙が置かれている。ホーム新聞を2ヶ月に一回発行して、入居者の方と自宅まで配布に行くなど、個々の家族ときめ細かいやり取りも行っている。 |
| 重点項目 | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) |
| 重点項目 | 併設施設が複数あり、グループホーム自体とバリアフリーで繋がっており、デイサービスに来られた方との交流がある。お寺の参拝、祭りの見学、保育園・小中学校の行事への参加、ボランティアの受け入れ、体験学習の積極的な受け入れなどに取り組んでいる。 |

2. 評価結果 (詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------------|----|--|---|-------|---|
| 1. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| | | 地域密着型サービスとしての理念 | | | |
| 1 | 1 | 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 地域密着型サービスを目指し、「利用者の思いに沿いながら、心地よい生活空間が営まれるよう」との思いから、理念を作りあげている。 | | |
| 2 | 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 理念を、台所・トイレ・事務所に掲示しており、常にミーティング時等、確認や意識付けをしながら日々のケアに実践している。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 地域の祭り、保育園・小中学校の運動会、演奏会の見学、福祉体験や学生ボランティアの受け入れを行っている。併設施設の合同行事やお寺へのお盆・お彼岸等の参拝があり地元の方々との交流が深い。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 評価の意義・目的を管理者より伝え、職員会議の時に全職員で話し合い、全員で検討しながら段階的に改善計画シートを作成し実施している。 | | |
| 5 | 8 | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議は2ヶ月に一回開催され、次の開催日時・議題を明記し参加者へ送付している。又、家族・市町村からの率直な意見を聞く事が出来、サービスの質の向上に活かされている。 | | 地域に密着した貴重な意見や話し合いを行っていく上でも、民生委員・自治会長などの色々な方面から、多彩な意見を取り入れて運営推進会議が活性していく事を期待したい。 |

グループホーム 南串山荘

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|----|---|--|-----|--|
| 6 | 9 | 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 2ヶ月に一回、グループホームの新聞を入居者の方と市町村の担当窓口に届けている。渡す際、簡単な様子など話し、顔見知りの関係を築いている。 | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | ドライブを兼ねて、入居者の方と請求書を自宅へ届けている。金銭管理については、家族に確実に報告し、捺印を得ている。領収書はコピーを保管し、原本を家族へ渡している。 | | |
| 8 | 15 | 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 玄関に苦情受付用紙を設置し、いつでも苦情・相談を気軽に伝えて頂くようにしている。年に一回、家族会を開催し、夫婦で参加されるところもあり、意見等が聞ける機会となっている。 | | |
| 9 | 18 | 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 職員交代・異動があった場合、日々のケアを通し、信頼関係を築いて行き、少しずつ馴染んでいけるよう雰囲気作りを大切にしている。 | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 外部の研修は可能な限り受講している。参加者は報告書を作成し、毎月開催される併用施設の全体会議で発表し、法人内部の研修発表が多彩に聞くことができる体制が整っている。 | | |
| 11 | 20 | 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | グループホームの連絡協議会に加入して、研修・話し合い等に参加している。 | | 他の事業所の職員と交流する機会や場面作りを設け、ネットワーク作りや勉強会・訪問等を通じてサービスの質の向上を目指す取り組みを期待したい。 |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|----|--|--|-----|-----------------------------------|
| .安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | <p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> | <p>管理者・看護師・ケアマネジャーが自宅・病院へ出向き、本人・家族と面談し、ホームに馴染んで頂けるようサービスに努めている。ほとんどがデイサービスからの入居依頼であり、普段より馴染みの関係が出来ている。</p> | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | <p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p> | <p>料理の工夫・薬の知恵・裁縫・掃除の仕方など、入居者の得意分野で力を発揮して頂きながら、職員と一緒に過ごし、支え合う関係作りが出来ている。</p> | | |
| .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | <p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p> | <p>日々のケアの中で、声掛け・行動・表情から思いを汲み取り、観察しながら確認・把握を行っている。</p> | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | <p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p> | <p>入居者や面会に来られた家族に意見を聞いたり、自宅へ出向く事もある。更に、郵送などでも意見を取り入れながら、介護計画を作成されている。又、新しい様式に変わり、全員で話し合いながら取り組まれている。</p> | | |
| 16 | 37 | <p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p> | <p>介護計画の書き換え・見直し時には、全職員が24時間チェック表に記入し、モニタリングを行い、カンファレンスで検討しており、現状に即した介護計画を作成している。</p> | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------|----|--|---|-----|-----------------------------------|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 併設施設から訪問看護師が定期的に訪れたり、入退院の送迎、歯科医の往診、お墓参り、入居者や家族の希望に沿っての病院受診など柔軟な対応がされている。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 入居者や家族の希望する医療機関や、提携の病院により、必要に応じ、往診・受診を支援している。緊急時は適切に医療が受けられるよう連絡体制が整っている。 | | |
| 19 | 47 | 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 終末期の看取りは検討中である。入居時に、重度化の対応については家族とも話し合い、同意書を書いて頂いている。 | | |
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1) 一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 施設内で定期的に接遇の勉強会が開かれており、日々のケアにおける声かけ・接し方は、普段からプライバシーの配慮に努めている。 | | |
| 21 | 52 | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 入居者の思いを尊重し、見守りながら支援しており、車椅子の方でも座位で出来るように工夫し、個性を活かしながら無理する事なく取り組んでいる。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|----|--|---|-----|-----------------------------------|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 職員は介助をしながらも会話、笑顔を絶やさず、食事の時間を楽しく家庭的なものとなるよう、ゆったりと支援している。食事の準備、配膳、下膳は可能な範囲で利用者に手伝って頂いている。 | | |
| 23 | 57 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 入浴日は週に2～3回可能であり、1週間に1～2回はデイサービスの大浴場へ行かれる時もある。車椅子の方はリフトを用い入浴されている。又、入浴の出来ない方は足浴・清拭にて対応されている。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 裁縫、カーテンの開閉、掃除、料理の下ごしらえ、塗り絵、プランターの草取り等、毎月1日・15日に彼岸・お盆のお寺への参拝など、一人ひとりに合った役割や気晴らしの支援をしている。 | | |
| 25 | 61 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 職員とスーパーへ食材の買い物や近くの公園へおやつを持ってピクニックへ行ったり、お祭り・お花見など日常的に積極的に外出支援をしている。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 日中は鍵は掛けていない。玄関の二重ドアで音を察知したり、徘徊される方の癖を把握して、強制せず声を掛けながら気長に見守り、支援をしている。 | | |
| 27 | 71 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 地域の消防団員が参加し、消防署の立会いのもと、昼夜を想定した消火・避難訓練を年2回開催している。消火器・自動通報装置など設備点検を定期的に行っている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------|----|--|--|------|-----------------------------------|
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 入居者個々に応じて水分の摂取量をチェックしている。又、管理栄養士により、定期的に献立を点検して、アドバイスを受けている。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 窓からの眺めが良く、廊下には手作りカレンダーをかけられている。食堂の前には広い畳の部屋があり、馴染みの本等がある。又、家庭にもある仏壇も置かれており、居心地良く過ごせる空間である。 | | |
| 30 | 83 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 各部屋には、設置してある家具はあるが、それぞれに馴染みの家具や、ソファ、椅子が置かれている。入居者が使い慣れた品物をそれぞれに持ち込まれて、落ち着いた生活ができるような空間作りを支援している。 | | |